



2013年6月6日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

5月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の5月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

畠山 和洋 (東京ヤクルトスワローズ)
初受賞

畠山選手は、5月17日(金)の対千葉ロッテ1回戦(神宮)、2対5の3点ビハインドで迎えた9回裏無死満塁の場面で、自身初の逆転満塁サヨナラ本塁打を放ちました。この試合は8回まで散発4安打と千葉ロッテ投手陣に抑え込まれておりましたが、9回裏の土壇場で掴んだビッグチャンスで畠山選手のバットから放たれた弾丸ライナーは、ほぼ勝利を確信する千葉ロッテファンで埋まる左翼席に叩き込まれました。まさに起死回生の一撃は、チームの6連敗を止める大きな一発となりました。畠山選手の受賞は、東京ヤクルトからの初受賞となります。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

浅村 栄斗 (埼玉西武ライオンズ)
初受賞

浅村選手は、5月31日(金)の対東京ヤクルト3回戦(西武ドーム)、1対1の同点で迎えた9回裏、二死走者一、三塁の場面で、レフトスタンドへサヨナラ本塁打を放ちました。浅村選手にとって、このサヨナラ本塁打は、8回裏の先制ソロ本塁打に続く自身初の2打席連続本塁打となりました。4番に入って2試合目、チームの全打点を叩き出した浅村選手が、チームに今シーズン初のサヨナラ勝利をもたらしました。浅村選手のサヨナラ本塁打は、2011年6月24日以来、2年ぶり2本目となります。浅村選手の受賞は、埼玉西武からの初受賞となります。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として昨シーズン制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手



【月間「スカパー！ サヨナラ賞」】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (横浜DeNAベイスターズ)	田中 賢介 (北海道日本ハムファイターズ)
5月度	森野 将彦 (中日ドラゴンズ)	A.バルディリス (オリックス・バファローズ)
6月度	和田 一浩 (中日ドラゴンズ)	M.ホフパワー (北海道日本ハムファイターズ)
7月度	石原 慶幸 (広島東洋カープ)	柘田 慎太郎 (東北楽天ゴールデンイーグルス)
8月度	阿部 慎之助 (読売ジャイアンツ)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンクホークス)
9月度	新井 良太 (阪神タイガース)	松井 稼頭央 (東北楽天ゴールデンイーグルス)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神タイガース)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンクホークス)

【スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (読売ジャイアンツ)	井口 資仁 (千葉ロッテマリーンズ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島東洋カープ)	小久保 裕紀 (福岡ソフトバンクホークス)
2011年度	長野 久義 (読売ジャイアンツ)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンクホークス)
2012年度	和田 一浩 (中日ドラゴンズ)	中田 翔 (北海道日本ハムファイターズ)

以上